



「ごみ減量大作戦」

出水市、阿久根市、長島町から出るごみは、2市1町でつくる北薩広域行政事務組合で処理をしています。

本町においては、平成20年度までに家庭ごみ（一般家庭から出る廃棄物）の排出量が減少をたどりましたが、平成21年度から上昇しています。近隣市の阿久根市では少しずつですが減少していますが、出水市も上昇しています。

理由としては、可燃ごみの中にリサイクルが可能な紙類、プラスチックなどの混入があることと、不燃ごみでは、アルミ缶やスチール缶など分別すれば資源になるものが含まれています。

事業所ごみ（事業所から出る廃棄物）についても、近年増加傾向にあり、家庭ごみ同様、リサイクルが可能な段ボール、紙類、缶、ビン類などの混入が多く見られます。

ごみ処理については、皆さんのご理解とご協力により、分別の徹底を行い、リサイク

ルする方向に転換したことで、処理量もやや減少傾向となっていますが、まだ減量化できる余地が残っています。

皆さんもご存じのとおり、資源には限りがあります。今後も限りある資源を節約し、同時にごみ処理に係る費用の削減などのために一層注目されているのが、ごみ減量の推進です。ごみそのものの発生を抑えるとともに、リサイクルを推進し、ごみとして処分するものをできるだけ少なくすることを1市2町で目標としました。このことから、構成市町が一体となることで、

数多くの大きな効果が期待でき、今後のごみ減量化が図られます。

出水市、阿久根市、長島町合同で「ごみ減量大作戦」の展開を宣言し、家庭や職場において、さらなるごみの分別・リサイクルの取り組みを行い、ごみの減量化に努めましょう。

さあ今日からやってみよう!

家庭・地域での取組例



買い物袋の持参



生ごみの水切り



詰替商品の利用



過剰包装

事業所での取組例



分別の徹底



使用済封筒等の再利用



- ・ミスコピーを防ぐ（クリアキーの活用）
- ・ミスコピーの裏面活用